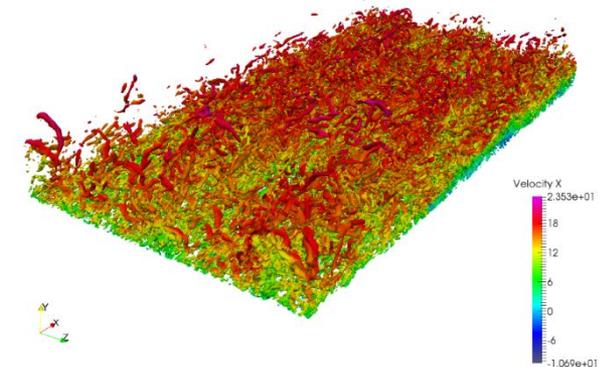
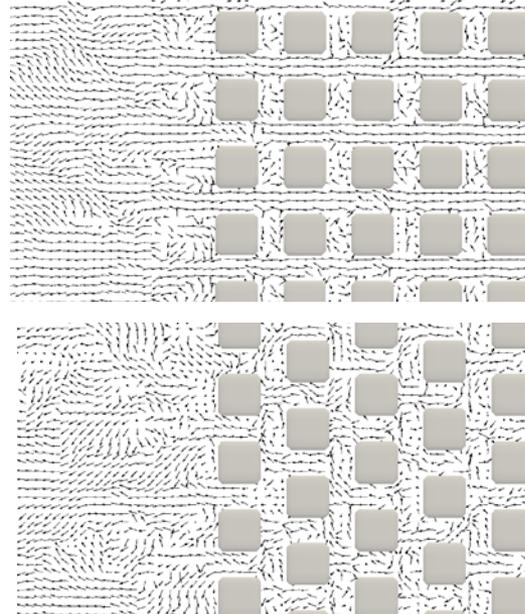
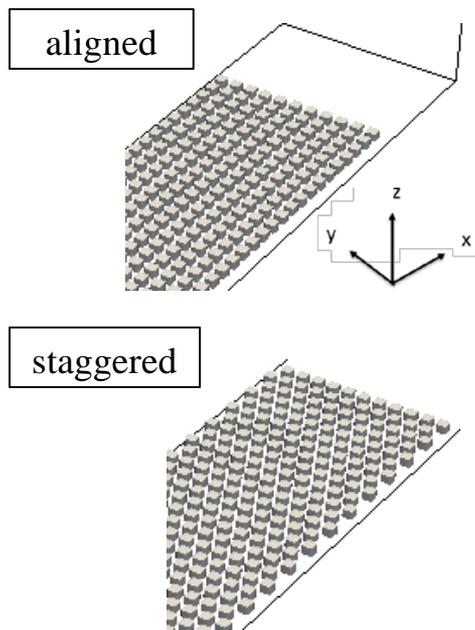


# 都市域に形成される組織構造の特性に関する基礎的検討

## 東京工業大学 河合 英徳、巢山裕記、佐久間悠人、田村哲郎

- 目的** 高層建築物群が散在する東京の市街地など不均一な粗度条件を持つ都市境界層の乱流構造を把握するための基礎的な検討を行う。
- 内容** 不均一な粗度条件を持つ都市境界層の乱流構造に関する予備的な検討として、粗度ブロックが並ぶ解析領域を対象としたLESを実施し、流れ場の乱流構造に関して確認する。
- 結果** 2種類の粗度ブロックの配置に対し、乱流構造の分析を行い、都市キャノピー内部の流れの構造特性とキャノピー上部にできる組織構造を確認した。



都市キャノピー上部に形成される組織構造(Q値等値面)

解析対象の粗度ブロック群と都市キャノピー内部の流れ場の構造

利用した計算機	: SX-ACE
使用メモリ	: 10.0GB
ベクトル化率	: 99.5%
並列化	: 1 node